

■作業日時

平成24年7月12日（木） 10時30分～15時00分

■作業人数・計画線量

- ・メーカー（作業員：11名） 計画線量 5mSv
- ・当社（作業員：3名） 計画線量 9mSv
- ・実績線量：（最大）3.45mSv

■作業目的

- ・RPV代替温度計の設置にあたり、温度計を挿入する配管が健全であることを確認
- ・X-51ペネ近傍配管の線量低減(フラッシング)
計装ラック側からRPV側へ水を流すため、結果として配管内部の線量低減を期待

■作業内容

- ・作業場所：2号機 原子炉建屋 1階
- ・作業手順：計装ラックから計装配管へ水張り
仮設圧力計指示値（水頭圧）により計装配管健全性を確認

■作業実績

- 10:20 水張り前の水頭圧確認 仮設圧力計：64kPa
- 10:35 水張り開始
約15L水張り（計装配管容量：約33L）
ポンプ圧力計 3.3MPaまで上昇、その後注入できない状況
- 11:05 水張り停止（水張り停止後徐々に圧力低下）ポンプ圧力計 0.2MPaまで下降
- 14:58 仮設圧力計 148kPaまで下降（下降継続中）→[明日数値を再確認](#)

福島第一原子力発電所2号機RPV代替温度計測 SLC配管健全性確認

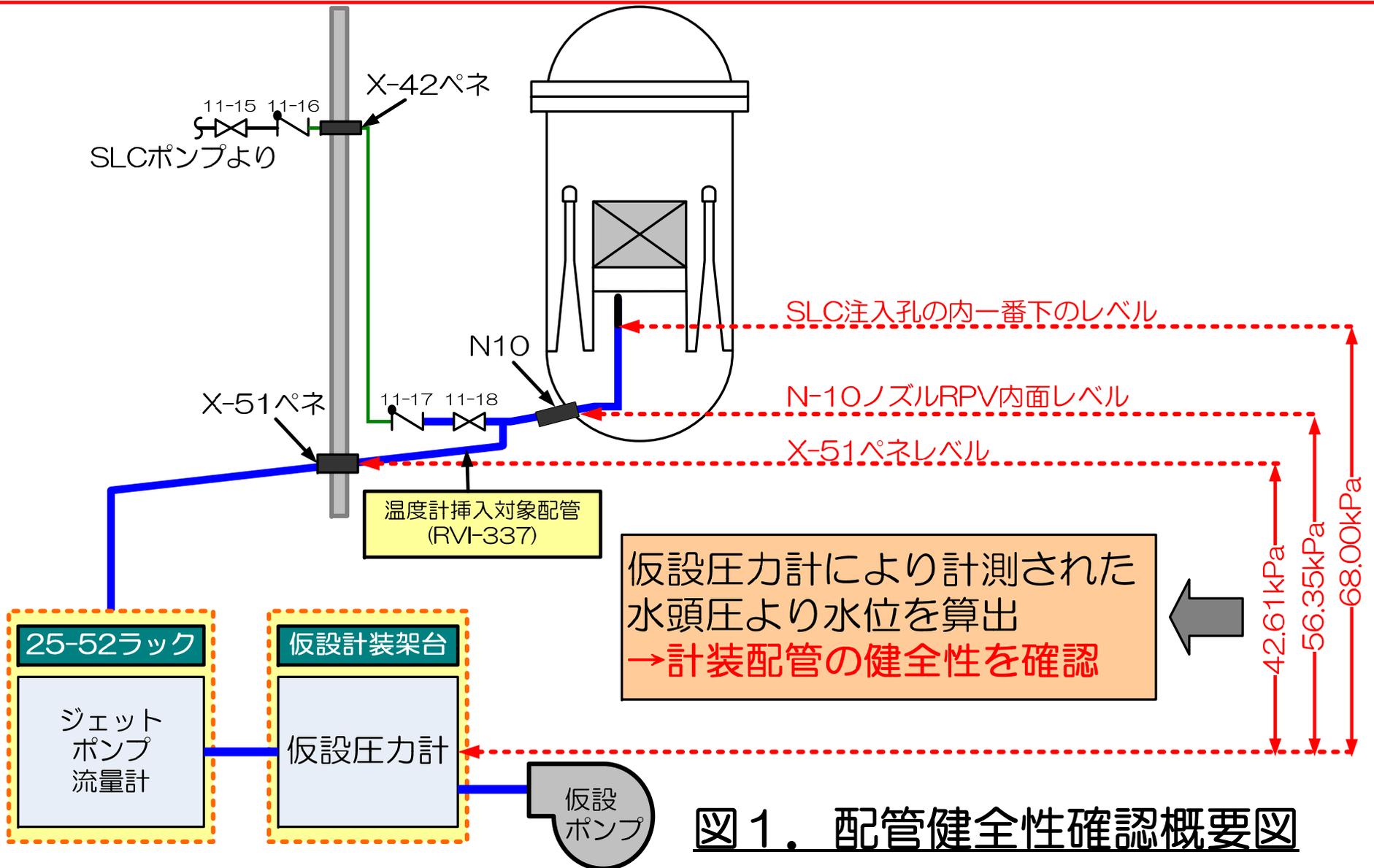


図1. 配管健全性確認概要図